

H29.10.16 クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」寄港

「秋の日本一周探訪クルーズ」として、約200名の乗船客を乗せ神戸を出港した「ぱしふいっくびいなす」が、横浜、苫小牧、直江津を経由し、10月16日(月)、鳥取港に入港しました。今回のクルーズ客船寄港は、日本クルーズ客船(株)の企画・実施によるもので、平成26年9月以来、3年ぶりとなります。

入港歓迎セレモニーの後、オプションツアー参加者はバスに乗り込み、鳥取砂丘や浦富海岸、倉吉、三徳山・三朝温泉などを観光した後、同日の午後5時に、長崎・平戸に向け、出港しました。

■入港歓迎セレモニー

岸壁では、「トリピー」などの着ぐるみがお出迎えし、地元の賀露町伝承芸能保存会による元唄貝殻節の披露や鳥取港振興会会長の深澤鳥取市長、平井鳥取県知事の挨拶等で入港を歓迎しました。



賀露町伝承芸能保存会の皆様が「元唄貝殻節」で入港を歓迎



入港を記念し、深澤会長から歓迎挨拶



「ぱしふいっくびいなす」の砂像もお出迎え

■岸壁・船内でのおもてなし

岸壁には「ぱしふいっくびいなす」の砂像や「吉岡温泉・足湯」を設置したほか、「いか団子汁」のふるまいや特産品販売等を行うとともに、船内では「しゃんしゃん傘踊り」体験講座を開催するなど、鳥取港ならではのおもてなしを行いました。



吉岡温泉の源泉足湯で「ゆったり」「のんびり」



鳥取・賀露みなどオアシスの皆様による「赤いか団子汁」のふるまい



船内ホールで、乗船客の皆様と傘踊りの一連の流れを練習

■県内観光(オプションツアー等)

ツアー先の1つである倉吉では、古い商家や白壁土蔵群の街並みを観光ガイドと一緒に散策されました。また、ツアーに参加されていない方用にシャトルバスを運行し、港から鳥取砂丘とマリニピア賀露にご案内しました。



白壁土蔵群・倉吉淀屋での特別講談



ボンネットバスで乗船客の皆様をマリニピア賀露へご案内



各種の催しが行われるホールやダイニングルームなどを見学

■船内見学会

寄港時に実施したクルーズ客船内見学会には、613名の応募があり、その中から抽選で選ばれた80名が見学されました。

■お見送り

賀露保育園による竹太鼓、賀露みどり保育園によるマーチング演奏や鳥取市観光協会連によるしゃんしゃん傘踊りの披露の後、緑のハンカチを振ってお見送りしました。



賀露みどり保育園児らによる
「マーチングバンド演奏」



鳥取市観光協会連・鈴の音大使の
華麗な「しゃんしゃん傘踊り」



次港の長崎・平戸に向けて出港